

TAKE NINAGAWA

バイオグラフィー

大竹伸朗
Shinro Ohtake

1955年東京都生まれ

1980 武蔵野美術大学 造形学部油絵学科卒業

主な個展

- 2025 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館, 香川 (開催予定)
- 2022 「大竹伸朗展」東京国立近代美術館 (東京); 愛媛県美術館 (愛媛); 富山県美術館 (富山)- 2023
「銅の時代 1978-2022」銀座 蔦屋書店 GINZA ATRIUM, 東京
「Shinro Ohtake」greenrassi, ロンドン
- 2021 「残景」Take Ninagawa, 東京
- 2019 「大竹伸朗 1975-1989」Take Ninagawa, 東京
「ビル景 1978-2019」熊本市現代美術館 (熊本); 水戸芸術館 現代美術ギャラリー, (水戸)
- 2016 「Shinro Ohtake: Paper - Sight」Singapore Tyler Print Institute (STPI), シンガポール
「時憶」Take Ninagawa, 東京
「SHOW-CASE project No. 3」慶應義塾大学 三田キャンパス, 東京
- 2014 「大竹伸朗」Parasol unit, ロンドン
「既憶景」宮浦ギャラリー六区, 直島, 香川 (主催: 公益財団法人福武財団)
- 2013 「'00 -'12」Take Ninagawa, 東京
「大竹伸朗: 憶速」高松市美術館, 高松
「大竹伸朗展: ニューニュー」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館, 香川
「焼憶展」INAXライブミュージアム 世界のタイル博物館, 愛知
- 2012 「大竹伸朗」アートソングェ・センター, ソウル
- 2011 「大竹伸朗展」佐賀町アーカイブ, 東京
- 2010 「#65 | 2005-2010」Take Ninagawa, 東京
「#65」Take Ninagawa, 東京
- 2009 「貼貼貼貼 (Shell & Occupy 4)」Take Ninagawa, 東京
- 2008 「貼貼貼 (Shell & Occupy 3)」Take Ninagawa, 東京
「貼貼 (Shell & Occupy 2)」Take Ninagawa, 東京
「貼 (Shell & Occupy)」Take Ninagawa, 東京
- 2007 「大竹伸朗と別海 2007年」ウルリー牧場, 北海道
「大竹伸朗 路上のニュー宇宙」広島市現代美術館 (広島); 福岡市美術館 (福岡)
- 2006 「ヤバな午後」NADiff, 東京
「大竹伸朗と別海」ウルリー牧場, 北海道
「大竹伸朗 全景 1955-2006」東京都現代美術館, 東京
「旅景 TABI-KEI」ベイスギャラリー, 東京

TAKE NINAGAWA

- 2005 「On Paper」 ベイスギャラリー, 東京
- 2004 「UK77-写真、絵、貼 1977-78年」 ベイスギャラリー, 東京
- 2002 「BLDG. 大竹伸朗新作展」 ベイスギャラリー, 東京
「Man Is Basically Good: 大竹伸朗個展1982-2000」 ベネッセハウス ミュージアム, 香川
- 2001 「大竹伸朗デジタル・ワークス 鼠景/MOUSECAPE」
エプソン・イメージング・ギャラリー エプサイト (東京); NADiff (東京)
- 2000 「10.08. 武満徹 SONGS + 大竹伸朗」 NADiff, 東京
「ダブ景 大竹伸朗」 KPOキリンプラザ, 大阪
「大竹伸朗展」 ベイスギャラリー, 東京
「大竹伸朗 既景 1978-2000」 セゾンアートプログラム・ギャラリー, 東京
- 1999 「ZYAPAMORAMA 大竹伸朗展」 パルコギャラリー, 東京
- 1998 「大竹伸朗展」 Commons Gallery, ハワイ大学マノア校 美術学部, ホノルル, ハワイ州
「ネガな夜 大竹伸朗展」 西武アート・フォーラム, 東京
「新津-あいまいで私が日本 大竹伸朗展」 新津市美術館, 新潟
- 1997 「大竹伸朗 イン・プリント」 NADiff Gallery, 東京
「大竹伸朗 プリンティング/ペインティング」 CCGA 現代グラフィックアートセンター, 福島
- 1995 「大竹伸朗 網膜」 高島屋コンテンポラリー・アートスペース, 東京
「大竹伸朗展 X+Y=LOVE」 ストアデイズ, 東京
- 1994 「カスバの男 モロッコ日記」 アールヴィヴァン, 東京
「大竹伸朗の新作版画展 カスバの男 モロッコ日記」 西武アート・フォーラム, 東京
- 1993 「大竹伸朗 網膜」 ギャラリー・ところ, 東京
- 1991 「大竹伸朗の仕事 ECHOS 55-91」 西武アート・フォーラム (東京); なんばCITYホール (大阪)
「大竹伸朗の仕事 ECHOS 89+91」 ザ・コンテンポラリー・アートギャラリー, 西武百貨店池袋店, 東京
「大竹伸朗 ECHOS 1-100」 アールヴィヴァン (東京); Quincampoix 2 (大阪)
「大竹伸朗の仕事 ECHOS 71-91」 ギャラリー・ところ, 東京
- 1990 「大竹伸朗 Shipyard Works 1990」 寺田倉庫 Space T33, 東京
「大竹伸朗 Recent Works 1988-1990」 ギャラリー・ところ, 東京
- 1989 「大竹伸朗 America」 アールヴィヴァン, 東京
- 1988 「大竹伸朗 ドリームス展」 ギャラリー・ダン, 大阪
「Canvasism-夢と細胞 大竹伸朗新作展」 西武アート・フォーラム, 東京
- 1987 「大竹伸朗展 1984-1987」 佐賀町エキジビット・スペース, 東京
「大竹伸朗展 EZMD & ETCHINGS」 ギャラリー・ダン, 大阪
「〈倫敦/香港〉1980」 ギャラリー・ダン, 大阪
「ロンドン/ホンコン 1980 Part II」 みゆき画廊, 東京
- 1986 「ロンドン/ホンコン 1980」 ヒルサイド・ギャラリー, 東京
- 1985 「大竹伸朗-放浪する言語/未来の日本前衛」 Palazzo Bianco, ジェノヴァ
「大竹伸朗ペインティング/コラージュ」 Institute of Contemporary Art (ICA), ロンドン
- 1984 「大竹伸朗 1983-1984」 ギャラリー・ワタリ, 東京
- 1982 「大竹伸朗 個展」 ギャラリー・ワタリ, 東京

TAKE NINAGAWA

主なグループ展

- 2022 「NEOCLASSICAL」 Rodeo, ピレウス, ギリシャ
「ホワイトトリエンナーレ2022: Pacific Century – E Ho'omau no Moananuiākea」
ホノルル
「オルタナティブ! 小池一子展 アートとデザインのやわらかな運動」 3331 Arts Chiyoda, 東京
- 2021 「ART/MUSIC わたしたちの創作は音楽とともにある」 世田谷美術館, 東京
- 2020 「東京2020 公式アートポスター展」 東京都現代美術館, 東京
- 2019 「Phantom Plane, Cyberpunk in the Year of the Future」 JC Contemporary, Tai Kwun, 香港
「MOMATコレクション」 東京国立近代美術館, 東京
「タグチ・アートコレクション-球体のパレット」 北海道立帯広美術館; 北海道立釧路芸術館;
北海道立函館美術館; 札幌芸術の森美術館, 北海道
「瀬戸内国際芸術祭2019」 豊島, 香川
「百年の編み手たち-流動する日本の近現代美術-」 東京都現代美術館, 東京
「ニュー・ペインティングの時代」 高知県立美術館, 高知
- 2018 「バブルラップ: 『もの派』があって、その後のアートムーブメントはいきなり『スーパーフラット』になっちゃうのだが、その間、つまりバブルの頃って、まだネーミングされてなくて、
其処を『バブルラップ』って呼称するといろいろじっくりくると思います。特に陶芸の世界も合体すると
わかりやすいので、その辺を村上隆のコレクションを展示したりして考察します。」
熊本市現代美術館, 熊本
「The 9th Asia Pacific Triennial of Contemporary Art」
クイーンズランド州立美術館/近代美術館 (QAGOMA), ブリスベン
「Sharjapan: The Poetics of Space」 Al Hamriyah Studios, シャルジャ, UAE
「EPOCH」 ROH Projects, ジャカルタ
「Flash 1977/1989」 ハラ ミュージアム アーク, 群馬
「起点としての80年代」 静岡市美術館 (静岡); 高松市美術館 (高松); 金沢21世紀美術館 (金沢)- 2019
「181枚の記憶-高松市美術館特別展の歩み-」 高松市美術館, 高松
「10th Anniversary」 Take Ninagawa, 東京
「21世紀の美術 タグチ・アートコレクション展 アンディ・ウォーホルから奈良美智まで」
平塚市美術館, 神奈川
「モダンアート再訪-ダリ, ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展」
横須賀美術館 (神奈川), 広島市現代美術館 (広島); 埼玉県立近代美術館 (さいたま);
鳥取県立博物館 (鳥取)
「開館40周年記念展 トラベラー: まだ見ぬ地を踏むために」 国立国際美術館, 大阪
「現代美術に魅せられて-原俊夫による原美術館コレクション展」 原美術館, 東京
- 2017 「In Focus: Contemporary Japan」 ミネアポリス美術館, ミネソタ州
「日本の絵本100年の歩み」 ちひろ美術館, 東京
「Japanorama: New Vision on Art since 1970」 ポンピドゥ・センター・メッス, メッス
- 2016 「谷川俊太郎展-本当の事を云おうか-」 大岡信ことば館, 静岡
「所蔵作品展: MOMATコレクション」 国立近代美術館, 東京
「The Keeper」 New Museum, ニューヨーク
「夏・旅・語り-原美術館コレクション」 ハラ ミュージアム アーク, 群馬
「瀬戸内国際芸術祭 2016」 豊島, 香川
「Strange and Familiar: Britain as Revealed by International Photographers」

TAKE NINAGAWA

- Manchester Art Gallery (マンチェスター); Barbican Centre (ロンドン)- 2017
- 2015 「Books of Asia」 Asia Culture Center, 光州
「Duddell's presents: ICA Off-Site: Hong Kongese」 Institute of Contemporary Art (ICA), ロンドン
「An Imprecise Science」 Artspace, シドニー
「開館20周年記念 MOTコレクション特別企画: コレクション・ビカミング」 東京都現代美術館, 東京
- 2014 「開館20周年記念 MOTコレクション特別企画: クロニクル1995-」 東京都現代美術館, 東京
「ヨコハマトリエンナーレ2014: 華氏451の芸術 世界の中には忘却の海がある」 新港ピア, 横浜
- 2013 「5th Anniversary」 Take Ninagawa, 東京
「第55回ヴェネツィア・ビエンナーレ: The Encyclopedic Palace」 Central Pavilion, ジャルディーニ, ヴェネツィア
「瀬戸内国際芸術祭 2013」 女木島, 香川
「路上と観察をめぐる表現史-考現学以後」 広島市現代美術館, 広島
- 2012 「ドクメンタ (13)」 Karlsruhe Park, カッセル, ドイツ
「Double Vision: Contemporary Art from Japan」 モスクワ市近代美術館 (モスクワ); ハイファ美術館群 (イスラエル)
- 2010 「光州ビエンナーレ 2010: 10,000 Lives」 Biennale Hall, 光州
「これも自分と認めざるをえない」 21_21 DESIGN SIGHT, 東京
「瀬戸内国際芸術祭 2010」 直島, 香川
- 2009 「I BELIEVE: 日本の現代美術」 富山県美術館, 富山
「MOTコレクション-MOTで見る夢」 東京都現代美術館, 東京
- 2006 「FIX・MIX・MAX! 現代アートのフロントライン (最前線)」 北海道立近代美術館, 札幌
「水はつねに複数で流れる 東野芳明を偲ぶオマージュ展」 ギャラリーTOM, 東京
「直島スタンダード2」 地中美術館, 直島, 香川
「アートシンフォニー 20世紀美術の響き」 富山県美術館, 富山
「武満徹: Visions in Time」 東京オペラシティ アートギャラリー, 東京
「収蔵品展020 抽象の世界 色・かたち・空間: 東京オペラシティ コレクションより」 東京オペラシティ アートギャラリー, 東京
- 2005 「decade - CCGA と6人の作家たち」 CCGA 現代グラフィックアーツセンター, 福島
- 2004 「美しき旅 人生をめぐる」 富山県美術館, 富山
「再考: 近代日本の絵画-美意識の形成と展開・第2部」 東京都現代美術館, 東京
- 2003 「第41回岡山市芸術祭公式プログラム LOVE PLANET: 愛の惑星」 旧出石小学校, 岡山
「絵とものがたり すてきなえほん・絵本の教育的効果と芸術性」 姫路市立美術館, 兵庫
- 2002 「収蔵品展2002-I 新収蔵作品展 + 現代絵画入門」 広島市現代美術館, 広島
「Love and/or Terror: A Book Arts Exhibitions」 アリゾナ大学美術館, ツーソン
「本と美術 20世紀の挿絵本からアーティスト・ブックまで」 徳島県立近代美術館, 徳島
- 2001 「竹尾ペーパーショウ2002 PLEASE: あなたから、よい、たより」 スパイラル, 東京
「本という美術 大正期の装幀から現代のオブジェまで」 うらわ美術館, さいたま
「あるコレクターがみた戦後日本美術」 群馬県立近代美術館 (群馬); 愛媛県美術館 (松山)
「スタンダード展」 直島コンテンポラリーアートミュージアム, 香川
「大竹伸朗とディーター・ロート 見る・読む・触れるアーティスト・ブック」 うらわ美術館, さいたま
- 1999 「アート・ジャングル こどもとたんけん」 富山県美術館, 富山
「日本ゼロ年」 水戸芸術館 現代美術ギャラリー, 水戸

TAKE NINAGAWA

- 「時代の体温 ART/DOMESTIC」世田谷美術館, 東京
「現代美術のレッスン」秋田市立千秋美術館, 秋田
- 1998 「Connections/Contradictions: Modern and Contemporary Art from Atlanta Collection」
マイケル C. カルロス博物館, Emory University, アトランタ, ジョージア州
「都築響一 + 大竹伸朗 青山秘宝館」NADiff Gallery, 東京
- 1997 「原美術館コレクション展 人間模様」ハラ ミュージアム アーク, 群馬
- 1996 「20世紀美術の変容」セゾン現代美術館, 長野
「高知県立美術館 コレクション展 ニュー・ペインティング・コレクションを中心に」
高知県立美術館, 高知
「パイプライン 宇和島⇄大阪 Puzzle Punks 大竹伸朗 + ヤマタカ・アイ」
ザ・ギンザ・アートスペース, 東京
「所蔵品展」高知県立美術館, 高知
- 1995 「日本のブックデザイン 1946-95」ギンザ・グラフィック・ギャラリー, 東京
- 1994 「600 ソウル国際美術展」国立現代美術館, ソウル
「三木富雄/田中信太郎/大竹伸朗」ギャラリーところ, 東京
「ヒロシマ 21世紀へのメッセージ展」熊本県立美術館 (熊本); 大丸ミュージアム梅田 (大阪);
郡山市立美術館 (福島); 広島市現代美術館 (広島)
「断面1979-1994 原美術館15周年記念展」ハラ ミュージアム アーク, 群馬
「アウト・オブ・バウンズ 海景の中の現代美術展」ベネッセハウス ミュージアム, 香川
「アート・アゲインスト・エイズ・ジャパン アーティストの眼」横浜ランドマークホール, 横浜
「セゾン現代美術コレクション 戦後日本の絵画: 新収蔵品を中心に」セゾン現代美術館, 長野
「VOCA '94 現代美術の展望: 新しい平面の作家たち」上野の森美術館, 東京
- 1993 「親と子でみる現代美術: まなぶ あそぶ 美術の世界」富山県美術館, 富山
「日本現代彫刻の系譜 収蔵作品による」富山県美術館, 富山
「第1回アジア・パシフィック現代美術トリエンナーレ」クイーンズランド州立美術館, ブリスベン
「近代日本美術の流れと油井一二コレクション」佐久市立近代美術館, 長野
- 1992 「MASK 顔・表情」ギャラリー・TOM, 東京
「三木富雄/田中信太郎/大竹伸朗」ギャラリー・ルイ・カレ, パリ
- 1991 「Japan Art Today 北欧4カ国巡回記念 現代日本美術の多様展」セゾン現代美術館, 長野
「キャビネット・オブ・サインズ」Malmö Kunsthalle (マルメ); Whitechapel Art Gallery (ロンドン);
テート・ギャラリー (リバプール)- 1992
「20世紀・日本の絵画: Modernism and beyond」ふくやま美術館, 広島
「ハイブリッド・ガーデン 現代美術6人展」ビギ・アート・スペース, 京都
「アムネスティ『フリーダム '90s』ポスター展」横浜美術館, 横浜
「野生の復権 開館5周年記念展: コレクションからのメッセージ」世田谷美術館, 東京
- 1990 「Japan Art Today 現代日本美術の多様展」レイキャビク市立美術館 (レイキャビク);
ヘルシンキ市立美術館 (ヘルシンキ); シャーロットテンブルク美術展会場 (コペンハーゲン);
ストックホルム文化会館 (ストックホルム)- 1991
「幻想の力: 日本の近・現代美術から」宮城県美術館, 仙台
「80年代の日本現代美術」Bregenzer Festspiele (ブレゲンツ, オーストリア);
ルートヴィヒ財団近代美術館 (ウィーン); Bonn Kunstverein (ボン);
Frankfurt Kunstverein (フランクフルト)- 1991
「ファルマコン '90 幕張メッセ現代の美術展」幕張メッセ, 千葉

TAKE NINAGAWA

- 「世界の飢えを考えよう 国際美術展」世田谷美術館, 東京
「コレクション展」原美術館, 東京
「第1回タイン国際現代美術展: ニュー・ネセシティ」Laing Art Gallery, ニューカッスル・アポン・タイン
「作法の遊戯: 90年春・美術の現在」水戸芸術館 現代美術ギャラリー, 水戸
1989 「Alpha Cubic Art Collection」Alpha Cubic Gallery, 東京/パリ
「アゲインスト・ネイチャー: 80年代の日本現代美術」ICA名古屋 (名古屋);
ヒューストン現代美術館 (ヒューストン); Gray Art Gallery, ニューヨーク大学 (ニューヨーク);

- シンシナティ現代美術センター (シンシナティ); シアトル美術館 (シアトル);
MIT リスト視覚芸術センター・ボストン銀行 アート・ギャラリー (ボストン); アクロン美術館 (アクロン);
サンフランシスコ近代美術館 (サンフランシスコ)- 1991
1987 「'87 ADC展」G7ギャラリー; ギンザ・グラフィック・ギャラリー; ザ・ギンザ・アールスペース, 東京
「アーティスト50人に描かれた現代女性50人の肖像展」ザ・ギンザ・アールスペース, 東京
1985 「Artists' Books: Japan 日本のアーティストが創った『本』の展覧会」Franklin Furnace, ニューヨーク
1984 「第20回今日の作家 '84展 [面] をめぐる表現の現在」横浜市民ギャラリー, 横浜
1983 「アンタイトルド」Lawrence Oliver Gallery, フィラデルフィア, ペンシルヴェニア州
1981 「第1回西武美術館版画大賞展」西武美術館, 東京
「ART POP Japan - Tokyo Today」Institute of Contemporary Art (ICA), ロンドン
1980 「チャイナタウン・ファンタジア展」ラフォーレ・プラザ, 東京
1979 「θ (シータ)」ヴィレッジ・ギャラリー, 西武百貨店池袋店, 東京

主なライブ・パフォーマンス

- 1996 「デストロイ・オール・モンスターズ日本ツアー '96」ラフォーレミュージアム原宿, 東京
- パズルパンクスの初ライブパフォーマンス, 遠隔操作エレキ・ギター「ダブ平」を初演奏
1995 ヤマタカ・アイとノイズユニット「パズルパンクス」結成, 初CDブック「パイプライン」(UCA)発表
1985 「ライブ・ワンズ! 1985」ラッセル・ミルズとのサウンド・ユニット「オンリー・コネクト」によるサウンド・
パフォーマンス, オックスフォード近代美術館, オックスフォード
1980 「クルバ・カポル」B・C・ギルバート, グレアム・ルイス, ラッセル・ミルズとのサウンド・パフォーマンス,
ノートルダム・ホール, ロンドン
1978 音響実験グループ「JUKE/19.」活動開始, 81年までにLP・EP5枚制作

主なパブリック・ワーク

- 2021 「熱景/NETSU-KEI」道後温泉本館, 愛媛
2019 「覗き岩」宇和島市学習交流センター・パフィオうわじま, 愛媛
2016 「針工場」公益財団法人福武財団, 豊島, 香川
2013 「女根めこん」公益財団法人福武財団, 女木島, 香川
2009 「直島銭湯 I♥湯」公益財団法人福武財団, 直島, 香川
2006 「はいしゃ〈舌上夢/ボッコン覗〉」公益財団法人福武財団, 直島, 香川
2000 「北の空に浮かぶカタチ」札幌市生涯学習センター・ちえりあ, 札幌
1994 「シップヤード・ワークス」シリーズ: 「切断された船首」「船尾と穴」「船底と穴」「隔壁 I-VII」
「箱の上の隔壁 I-II」株式会社ベネッセホールディングス, 直島, 香川

TAKE NINAGAWA

レジデンシー

- 2015 Singapore Tyler Print Institute (STPI), シンガポール
- 1995 アトランタ・オリンピック委員会 (ACOG)及びオリンピック文化機関の招聘により、アトランタに滞在
- 1989 USIA及びアーティスト・コロニー基金の招聘により、米国に滞在

受賞

- 2014 芸術選奨文部科学大臣賞 美術部門

主なパブリック・コレクション

- ニューヨーク近代美術館
- ミネアポリス美術館
- ダラス現代美術館
- ヴィクトリア & アルバート博物館
- M+
- クイーンズランド州立美術館/近代美術館
- 東京国立近代美術館
- 東京都現代美術館
- 世田谷美術館
- 富山県美術館
- 愛媛県美術館
- 高知県立美術館
- 駒ヶ根高原美術館
- 佐久市立近代美術館
- 広島市現代美術館
- ふくやま美術館
- 福岡市美術館
- 新津市美術館
- 高松市美術館
- ベネッセアートサイト直島
- 彫刻の森美術館
- 東京オペラシティ アートギャラリー
- 原美術館
- セゾン現代美術館
- CCGA 現代グラフィックアートセンター
- 公益財団法人福武財団
- 札幌市生涯学習総合センター・ちえりあ
- 宇和島市学習交流センター・パフィオうわじま

主な出版物

- 2013 「ピ」新潮社, 東京
- 2010 「NOTES 1985-1987」ジェイ・ブイ・ディー, 東京
- 「直島銭湯 I ♥湯」青幻社, 東京

TAKE NINAGAWA

- 2008 「見えない音、聴こえない絵」新潮社, 東京
- 2007 「大竹伸朗 全景」大竹伸朗全景展実行委員会, 東京
「大竹伸朗展 路上のニュー宇宙」大竹伸朗展実行委員会, 福岡
- 2006 「ネオンと絵具箱」月曜社, 東京
- 2005 「既にそこにあるもの」筑摩書房, 東京
- 2004 「カスバの男 モロッコ旅日記」集英社, 東京
「UK77」月曜社, 東京
- 2002 「テレビン月日」晶文社, 東京
「18」青山出版社, 東京
- 1999 「ZYAPANORAMA 日本景」朝日新聞社, 東京
- 1997 「YMCB」トランスアート, 東京
- 1993 「ジャリおじさん」福音館書店, 東京
- 1991 「SO: 大竹伸朗の仕事 1955-91」UCA宇和島現代美術, 東京
- 1986 初画集「<倫敦/香港>1980」用美社, 東京